

粘菌・アーティスト作品展

南方熊楠と

本特別展は2つの観点から「粘菌(変形菌)」について取り上げます。
1つ目は、南方熊楠の粘菌研究であり、熊楠が粘菌を通じて交流をした若手研究者との書簡や標本などを紹介します。
2つ目は、近年活発になった粘菌をモチーフとした芸術活動です。粘菌の摩訶不思議さに魅せられたアーティストの作品を紹介します。



宇野 確雄

1895年-1984年

岡山県出身の植物研究者。



南方 熊楠

1867年-1941年

和歌山県出身の博物学者。



佐藤 清明

1905年-1998年

岡山県出身の博物学者。



雷 獣 (赤城美奈)

—採集・研究・芸術への昇華—

2024 7.1 MON - 9.23 MON

■開館時間▶9:00~17:00 (入場は16:30迄)

※休館日:木曜日 夏休み期間(7月20日~8月31日)は無休

■入館料▶大人(高校生以上) 600円 小・中学生 300円 幼児無料

協力機関:秋田公立美術大学粘菌研究クラブ 倉敷市立自然史博物館 佐藤清明資料保存会 たばこと塩の博物館
南方熊楠顕彰館 和歌山県立自然博物館

表紙写真:「高野山大門前」(南方熊楠顕彰館蔵)、「桜の下に立つ清明」(佐藤清明資料保存会)
ジクホコリ・アオウツボホコリ拡大模型



公益財団法人 南方熊楠記念館

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3601-1 TEL. 0739-42-2872



南方熊楠記念館



公式HP <http://www.minakatakumagusu-kinenkan.jp/>

特別展シンポジウム

「熊楠・粘菌・そしてアートへ」

■講師

唐澤 太輔 氏 (秋田公立美術大学)

「粘菌の中の大宇宙

—熊楠の言説を背景とした粘菌アートへの展開—

川上 新一 氏 (日本変形菌研究会)

「変形菌のおもしろ発見物語」

片岡 祥三 氏 (マメホコリ工房)

「粘菌との出会いから、粘菌を作品へ再構成する魅力」

■開催日 2024年9月16日(月・祝)

■時間 午後1時～午後3時

■場所 南方熊楠記念館 本館多目的室

■参加費 無料 (入館料が必要)

※定員35名 ※要予約

粘菌アートイベント

粘菌を粘土やマスキングテープで表現するイベントです。
詳しい内容は当館ホームページで7月1日以降公開します。

■講師 唐澤 太輔 氏 (秋田公立美術大学)

■開催日 2024年9月15日(日)

■時間 午後1時～午後3時

■場所 南方熊楠記念館 新館ロビー

■参加費 無料 (入館料が必要)

■定員20名

※要予約 ※幼児から参加できます。

「シンポジウム」

「粘菌アートイベント」は
下のQRコード (google フォーム)
からお申し込みください。

お電話でのお申し込みも可。

※申し込み開始 7月1日午前9時より



公益財団法人
南方熊楠記念館

開館時間 ▶ 9:00～17:00 (入場は16:30迄)
休館日 ▶ 木曜日 夏休み期間(7月20日～8月31日)無休

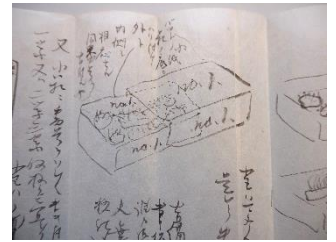
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3601-1
(臨海バス停徒歩8分)

TEL. 0739-42-2872

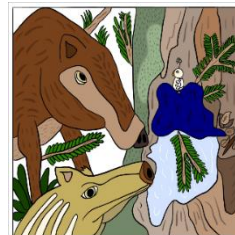
展示物のご案内



熊楠が採取した粘菌を入れた
タバコの箱
(倉敷市立自然史博物館蔵)



佐藤清明宛南方熊楠書簡に描
かれた粘菌標本の箱
(南方熊楠顕彰館 寄託資料)



プレフェルさんとイノシシ親子
(マメホコリ工房)



共生 (sizle 宮本静香)

作品展示アーティスト・グループ (敬称略・順不同)

マメホコリ工房 ・赤城美奈・秋田公立美術大学粘菌研究クラブ
sizle play on words / プレイオンワーズ たねいねりえこ
服部暁子 立石京子 space kigi caeru

◀◀ 特別展ギャラリートーク ▶▶

当館学芸員による特別展の展示解説を行います。

■開催日 2024年 7月7日(日) 8月18日(日)
9月1日(日) 9月22日(日)

■時間 午後2時～20分程度

■場所 南方熊楠記念館 本館特別展会場

■参加費 無料 (入館料が必要)

※申込不要

南方熊楠送付粘菌標本 (倉敷市立自然史博物館)
佐藤清明宛熊楠直筆書簡 (南方熊楠顕彰館蔵)
アミホコリ拡大模型

